

授業「デザイナーのための文章表現」の教材開発 —ダンススクールのチラシ制作（1）—

柴田奈美

1. はじめに

デザイン学部の3年生の学部共通科目「デザイナーのための文章表現」は、平成20年度より立ち上げた授業である（演習、1単位、選択）。文章表現に対する苦手意識を持つ学生に、いかに楽しく文章作成の技術を積極的に高めさせるか、という課題を設定して教材開発に取り組んでいる。

2. 授業の目標

1. 説得力や表現力を高めるために必要な、レトリックに関する知識を理解する。
2. さまざまな演習を通して、豊かな語彙力・言語表現力を身につける。
3. 言語文化に対する関心を深め、デザイナーとしての文章表現能力の向上を図る。

3. 授業内容

授業の到達目標は上記の3点であるが、3年生前期の授業ということで、就職活動につながるように配慮した。

具体的には、1回目から6回目までは「『自分』という商品を売り込む」という課題で、エントリーシートを作成させた。7回目から12回目まではキャッチコピー作りをメインに、チラシを作成させた。13回目から15回目は企画書の作成とまとめである。授業時間の三分の一から前半を解説と優秀作品の紹介、残りを作成時間にあてて、授業時間内に課題が終えられるように配慮した。

本研究ではチラシ制作について報告したい。

平成22年度、23年度と24年度は社交ダンススクールの入会勧誘のチラシ制作を課題とした。

まず、優れたキャッチコピーを例に挙げて、そのどこが優れているのかを分析し、短い表現にさまざまな工夫のなされていることを解説。それを踏まえて、キャッチコピーの「公式」を紹介して、洗剤の販売促進用のキャッチコピーを作らせた。その中から優秀作品を選び、分析・解説した。

以前、野菜ジュース販売促進のチラシ作りを2年間続けたが、企業からの依頼で作成するわけではないため、色の使い方など取り組み方に安易なものを感じさせる学生が目立ったのが気になった。そこで、平成22年度と平成23年度は、実在する社交ダンススクール「ヒトミダンススクール」(注1)の入会勧誘のチラシを作らせる

ことにし、優秀作品を主宰に選んでいただくこととした(注2)。本年度はさらにクライアントの依頼に応じた作品制作という条件をつけ、就業のためのモチベーションとなるようにも配慮した。

依頼者からの条件とし、授業者から次のような点を示した。

- ① 品位の感じられるもの
- ② 多くの似た広告の中で目立つもの
- ③ 「ヒトミダンススクール」の文字は必ず入れること
- ④ ホームページ閲覧に誘導するもの

さらに、授業の課題としての条件として、

- ① キャッチコピーを工夫すること
(インパクトのある言葉を捜すこと)
- ② 社交ダンスのことをよく調査してから作成すること
- ③ ターゲットを絞ること
- ④ 写真など映像を用いる場合は、著作権フリーのものを使うこと
- ⑤ 文章表現全体に工夫をすること
(言葉の選択・文字の選択・改行の仕方・情報量など)

完成した作品は教室内に全て並べ、相互に鑑賞しつつ採点させた。

4. 結果

実在する社交ダンススクールからの依頼で、優秀作品が学外の方から選ばれるということで、学生たちは意欲に燃えた。

昨年は印刷時間の問題があり、白黒作品を中心としたが、完成作品の美しさ、課題完成時の学生の達成観という面を考慮して、本年度はカラー印刷を時間外に行うように指示した。

次に示す①、②、③は学生の中で評価の高かった作品で、④～⑦はダンススクールの主宰や生徒さんに選ばれた作品である。

- ① 増岡宏太郎作品「アタシの舞台はここじゃない。」

台所仕事をしている女性の後ろ姿を写した写真を使用。白抜きの太字で「アタシの舞台はここじゃない。」というキャッチコピーを大きく書いている。欄外に基本情報と「輝ける場所」と手書き風フォントで記している。もっと自分の輝ける場所が欲しいという女性の欲求を前面に出し、その答えが「ヒトミダンススクール」にある、

という画面の構成になっている。インパクトのあるコピーが評価された。

② 黒木さとみ作品「あの夏の 続きを」

タキシード姿の年老いた男性が妻にダンスの手を差し伸べている。年老いた妻はエプロンで手を拭きつつ、戸惑っている様子。しかし、エプロン姿と二重写しの形で社交ダンスのドレスも薄く描かれている。また両者の影は数十年前、男性が女性にラブレターを手渡しする様子を表している。過去と現在の恋心をうまく一画面におさめ、物語性のあるものになっている点が評価された。

③ 兵頭麻耶作品「毎日の主役があなたに・・・」

買い物袋を傍らに置いたエプロン姿の主婦、赤ちゃんを背負った若い母親、ベットと戯れる少女などがスポットライトを浴びつつ、音楽に合わせて楽しく踊っている。自転車に乗る男性やランドセルを背負った小学生が驚いて、彼女たちの踊りを見ている。明るい黄色の背景の中、買い物袋から転がり出たトマトの赤が、「HITOMI DANCE SCHOOL」の部分の良いアクセントになっている。全体的に楽しくユーモアの溢れる点が評価された。

④ 真野香織作品「心おどるリズムがある」

ヒトミダンススクールの主宰推薦作品。昭和の初め頃をイメージできるようなレトロな色使い。若い男女が楽しそうにラテンダンスを踊っている。キャッチコピーも踊りに合わせて、軽やかなデザインで描かれている。色使いはホームページで使用されている重厚な色合いに通じているが、ピンクや黄色、明るい水色も使用しており、かわいらしい印象もある。主宰の推薦理由は、若々しさが感じられた点であった。

⑤ 野原佐智子作品「ヒトミにおまかせ！」

ヒトミダンススクールの主宰推薦作品。6コマの漫画で画面が構成されている。ストレス解消、ダイエット、足腰の鍛錬、コミュニケーション能力の向上など、さまざまな要求にダンスが有効であることを、漫画で表現している点が新しい。主宰の推薦理由も漫画という手法が面白かったためということであった。

⑥ 田村祐介作品「あなたの輝く場所がここにある」

ヒトミダンススクールの生徒さんの投票数第2位の作品。背景の紺色と人物のシルエットを黒で表現した、シンプルなビジュアル。「HITOMI DANCE SCHOOL」とキャッチコピーと基本情報は白抜きで文字で表現されている。生徒さんの推薦理由は「色使いが上品で、かっこいい」というものであった。情報量が少なく、全体的にシンプルではあるが、人物のシルエットを華やかなポーズにし、上品な紺色に色を統一したことで、「かっこよさ」が生まれた。

⑦ 坪井幸恵作品「二度目の青春、始めませんか？」

ヒトミダンススクールの生徒さんの投票第1位の作品。全体的にピンクを基調とした華やかなビジュアルで、ゆるやかな曲線に「ヒトミ ダンススクール」とピンクでよく目立つように提示。その上には黒文字で小さく「社交ダンスを始めませんか？岡山のダンススクール」とある。また、左横にやや右上がりに「二度目の青春、始めませんか？」というキャッチコピーがあり、右に小さな黒文字で「ワルツ・タンゴ・スローリズム・・・様々なダンスを学べます。／初級コースもあるので未経験者も安心！」とあり、文字情報が多い。しかし文字の大きさやレイアウトに工夫があり、邪魔にはなっていない。生徒さんの評価は「上品で華やか」というものが多かった。

5. 考察

学生の作品には、発想の面で工夫の凝らされたものが多かった。学生間の評価が高かった作品も、発想の面で独自性の強いものが中心であった。しかし、学生間で評価の高かった作品と、ダンススクール関係者に評価された作品が全く重ならなかった点を、問題としたい。

その理由として、ダンススクール関係者は自分を含めたダンスのイメージを若々しく、華やかな世界と受け止めているため、現実味の前面に出たビジュアルには共感できなかったことが挙げられる。学生間で評価の高かった作品を紹介したときに、主宰や生徒さんからは「確かに面白い。他のダンス教室のチラシとしてなら評価できますが」とのコメントをいただいた。

今回はアンケートの対象者が「ヒトミダンススクール」の主宰や生徒さんであったために、経営するダンススクールのイメージや「ダンスをする自分」のイメージに重なる作品を支持された、と考えられる。

- このことを踏まえ、次回の作品制作の条件としては、
- ・上品で華やかさの感じられるもの
 - ・若々しさの溢れるもの
 - ・発想の斬新なもの

の3点を強調したい。

依頼者の直接言葉には出されない要求を読み取ることの難しさと大切さを、私自身が確認できた。

今回は具体的な作品を依頼者にお見せして、そのコメントから要求される内容を把握できることが確認できたので、今後の教材開発に役立てたい。

注1) 主宰：人見淳一氏、(岡山市北区横井上1299-6)

注2) 平成23年度の教材研究の成果は、岡山県立大学デザイン学部紀要No.18「授業『デザイナーのための文章表現』の教材開発—ビジュアルと言語表現の融合—」で報告した。



輝ける場所。 **Hitomi**
DANCE SCHOOL

〒701-1145 岡山県備前市上1299-6 TEL.086-294-1620



(図1)

毎日の生活があなた...

HITOMI DANCE SCHOOL
http://www.hitomids.com

TEL086-294-1620

【ダンスの種類】
パーティーダンス スローリズムダンス(ブルー)・ワルツ・マンボ・スワグ・エアロビクス
スタンダードダンス ワルツ・タンゴ・スローフォックストロット・ウィークスステップ・ワグナーワルツ
ラテンダンス チャチャ・サルサ・バサノ・ロ・バト・フレ・ソライブ

(図3)

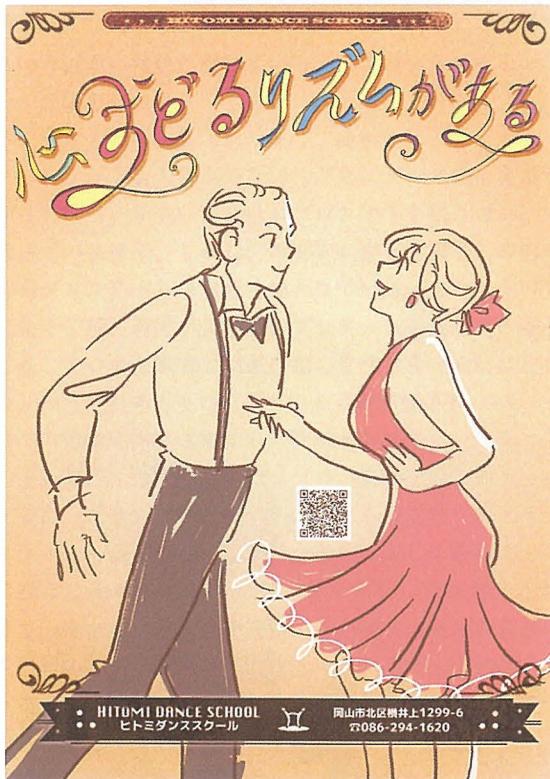
ヒトミダンススクール

あの夏の
続きを



〒701-1145 岡山県備前市上1299-6
TEL 086-294-1620
FAX 086-294-1621
アクセス
白旗自動車道 岡山インターチェンジより車で3分
JCT備前交差点を南へ約1.5km歩行者
備前市立備前小学校裏502号 駐車スペース6台あり

(図2)

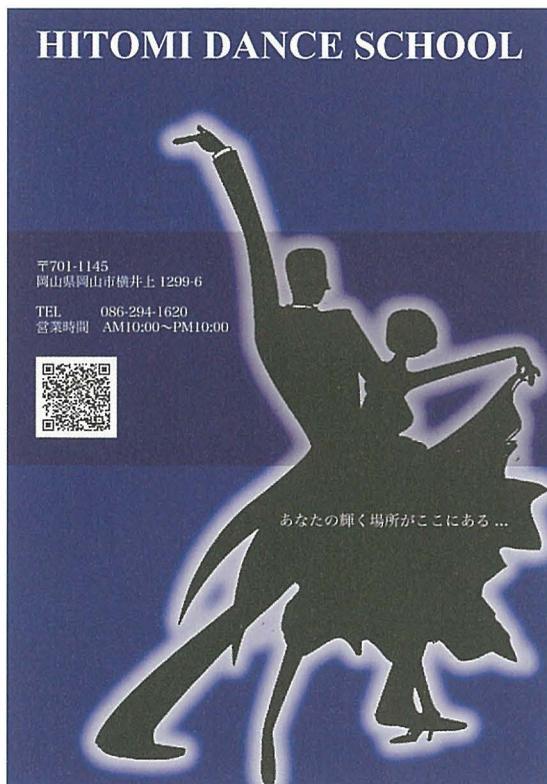


(図4)

ヒトミにおまかせ!



(図5)



(図6)

社交ダンスを始めませんか? 岡山のダンススクール

ヒトミダンススクール



(図7)

* 授業「デザイナーのための文章表現」の教材開発 —ダンススクールのチラシ制作(1)— 柴田奈美